



# 富士見市議会だより

## 富士見市議会議員集合写真

### (前列右から)

庁舎整備に関する特別委員長 関野 兼太郎  
 建設環境委員長 加賀 奈々恵  
 文教福祉委員長 川畑 勝弘  
 副議長 今成 優太  
 議長 斉藤 隆浩  
 議会運営委員長 田中 栄志  
 総務委員長 深瀬 優子  
 予算決算委員長 篠田 剛  
 市議会だより編集委員長 尾崎 孝好

### (二列目右から)

総務副委員長 村元 寛  
 文教福祉副委員長 佐野 正幸  
 文教福祉委員 熊谷 麗  
 予算決算副委員長 寺田 玲  
 総務委員 山下 淑子  
 庁舎整備に関する特別副委員長 根岸 操  
 建設環境委員 伊勢田 幸正

### (三列目右から)

建設環境委員 篠原 通裕  
 建設環境委員 小泉 陽  
 建設環境副委員長 小川 匠  
 議会運営副委員長 勝山 祥  
 総務委員 木村 邦憲



議長 斉藤 隆浩

**ごあいさつ**  
 市民の皆様におかれましては、輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、富士見市議会の活動に対し、心よりご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。  
 昨年、新たに立ち上げた市議会だより編集委員会では、より見やすく興味を持っていただける市民参加型の紙面づくり  
 市民の皆様には、市議会への一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

## 手話通訳士さんってどんな仕事？ 議会がインタビュー

編集日：令和4年1月6日

### (1) 手話を始めたきっかけ

**伊従さん**  
 小学生の頃の総合教育・福祉教育の一環で手話を見たことがきっかけで、手話サークルに通い始めました。

**田口さん**  
 以前の勤務先に聞こえないスタッフの方がいらっしやうて、お話ししたいと思って手話を勉強し始めました。

### (2) 手話通訳士となったきっかけ

社会福祉協議会で働いた際に、「手話通訳士」の資格がないと安心感を与えられないと感じたからです。聴覚障がいをお持ちの方に付き添った際、不安がないように手話通訳士の資格を取得しようと思いましたが、

通訳士になるまでのステップでは、技術と福祉制度などの専門的な学びが必要で、かなりの勉強時間が必要でした。仕事をしながらだと、多くの人たちは勉強時間の確保が難しいのが現状だと思いました。

### (3) 仕事や活動をしていて大変なこと

手話は言語なので、言語を使う方たちとお話ししない限り成長しないため、常に手話のある環境に身を置くことが必要だと感じました。聞こえない人によって地域で育ててもらっていると感じています。

ただ単に「訳すこと」ではなく、人と人とを「繋ぐこと」が仕事として求められているので、その場に合わせて臨機応変な対応が求められることがやりにくいもあり、大変なことでもありますが感じています。

手話通訳士という職業の認知度が低いため、病院に通訳として同行しても介助者として扱われてしまいう、ということがあります。

また、手話通訳士としてではなく、聞こえない人の困難として、「聞こえない人がいる」ということがそもそも地域社会に浸透していないので、普段の買い物の際など、コミュニケーションを取ること自体が難しいという声を伺います。

特にコロナ禍以降は、マスク着用となっているので、口を見て言葉を讀み取ることが難しい、という声をよく伺います。

### (4) 嬉しかったこと、良かったこと

聞こえない人から「今までみんな何を話しているのか分からなかったが、はじめて何を話しているのか分かった。」と喜んでいただいた時にやりがいを感じました。

また、町会に手話通訳士として入った際に、手話通訳があることよって、聞こえない人と町会との間に人間関係が繋がった時、嬉しく思いました。何よりも、手話をやっていると会えない人たちが多くいたと思います。人生が豊かになりました。

### (5) 市民へのメッセージ

「手話」という言葉の認知は増えてきましたが、そもそも手話を使っている聞こえない人が身近な地域社会にいないことについてはまだまだ認知が足りないと感じています。聞こえない人が身近にいるのだということをもっと知っていただきたいです。聞こえない人は言語がそもそも違うので、市民の目からは分かりづらいという困難が存在しています。街中で「もしも自分が聞こえなかったら」ということをふと思っただけなら、

地域社会においても、手話をもっと広げることを望んでいます。例えば、コンビニの店員さんにも理解が広まって、「温めますか？」という簡単な手話が自然と出てくるような社会になったら良いと思います。

聞こえない人が行く先々で適切に対応してもらえ、また聞こえる人が身近なところで配慮できるような環境づくりを市民間でできたら良いと思います。

### (6) 市議会に伝えたいこと

富士見市には手話言語条例があり、先駆的ですが、地域社会の聞こえない人々への理解といった点ではまだまだだと感じています。手話言語条例の中身をしっかりと深めていただきたいと思います。

手話は「手を動かす」ということから、他言語よりも早期に学習することが必要です。できれば小学生のうちから「聞こえない人たちがいる」、「手話」という言語がある」ということを知ってもらえる環境を作っていただけたら幸いです。

また、手話通訳士という仕事の認知度が向上することを望みます。小さいうちから手話に触れることで、仕事の選択肢の一つとして手話通訳士があるのだということを知っていただけたら嬉しいです。

### (7) まとめ

手話通訳士の方が、自身の仕事の大変さだけでなく聞こえない人の大変さについても気にかけていらしたことが印象に残りました。

今回の取材を通して、今後、手話通訳士の方が抱える課題はもちろんです、聞こえない人が伝えられない困難を抱えているという課題も市議会として丁寧に聞いていきたいと感じました。



伊従 澄恵さん

田口 麗子さん

# 市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題や富士見市の課題などについて市議会議員が市に対して質問を行いました。



**① 道路損傷通報サービスの活用状況は**

**Q** 9月に活用が始まったとのことであるが、これまでの通報の件数は。

**A** 9月8日から約3か月で11件の通報があった。

**Q** 市民の皆さんへのサービス利用のPRは。

**A** 市のホームページにサービス開始の旨を掲載した。

**② 雑草が繁茂している民間所有の空き地について**

**Q** 実態把握は。

**A** 近隣住民からの情報により確認している。

**③ 利用されていない水谷東地域ゲートボール場について**

**Q** 6月議会での答弁では関係部署と協議することだったが、活用されず雑草が繁茂している。地元のみちづくり協議会に管理を委託しては。

**A** 関係部署に個別に相談しているが、現時点では協議にまでは至っていない。



**① デジタル社会形成に向けた取組について**

**Q** デジタル化が進む中、本市の取組状況は。

**A** システムの標準化をはじめ行政手続のオンライン化など、市民の利便性向上や庁内業務効率化を目指している。

**Q** 情報技術格差への対策は。

**A** 民間活力などを取り入れた活用支援も重要と認識する。

**② 児童の安全対策について**

**Q** 災害時に保護者へ引き渡すまでの児童の居場所。

**A** 一般避難住民とは別に教員が付き添い一緒に待機する。

**③ みずほ台駅西口ロータリーの今後について**

**Q** 老朽化した施設の対策は。

**A** オブジェは清掃点検を実施、ライトは撤去も検討。

**Q** 交番設置の考えは。

**A** ロータリー内部は安全確保の観点から現状難しい。歩道のある周辺部で設置できないか検討する。



**① 共生社会の実現を**

**Q** 共生社会ホストタウンとして、今後の展開は。

**A** パラリンピアンとの交流・ユニバーサルデザインのまちづくり・心のバリアフリーを柱として推進する。あらゆるバリアを取り除くため、庁内で連携し取り組んでいく。

**② 家庭系ごみ収集に関する諸課題について**

**Q** 集積所へ自力でのごみ出しが困難な高齢者や障がい者等への新しいごみ出し支援を導入しては。

**A** 委託したシルバー人材センター支援員や地域住民による見守り協力員が支援を行っている自治体があることは存している。共助の観点から住民同士の支え合いも重要であると考えており、ふれあい収集事業の継続と併せて、生活支援コーディネーターの活動や介護支援ボランティア制度との連携などを研究する。



**① 福祉施策について**

**Q** 高齢者の情報格差解消に向けたスマートフォン普及に補助を。

**A** 福祉施策として購入に対する補助は考えていない。

**Q** 危機管理部門と連携して補助の検討を。

**A** 連携を図っていく。

**② 公共施設について**

**Q** 庁舎建替えに備えて計画的に次年度予算から積立てを。

**A** 必要な対応を図っていく。

**Q** 富士見ガーデンビーチの跡地利用にあたり、多くの市民から広くアイデアの募集を。

**A** 意見聴取の手法の一つとして検討していく。

**Q** 公共施設予約システムによる公民館・交流センター等の予約について、仮予約だけでなく、複数の施設を予約した場合でも、最寄りの施設で一括して本予約までできるように改善を。

**A** 調査・研究していく。



**① 新型コロナウイルス関連対策について**

**Q** 3回目ワクチンの8か月後接種前倒しに対する考えは。

**A** 現段階では8か月をもって実施する。体制を整え6か月の対応に向けて努力する。

**② スポーツ振興について**

**Q** 第2運動公園ミニ野球場のグラウンド改修は。

**A** 来年度の当初予算において検討している。令和4年度が屋外運動場改良のスタートの年と考えている。

**③ 鶴瀬駅東口について**

**Q** 公衆トイレの設置を。

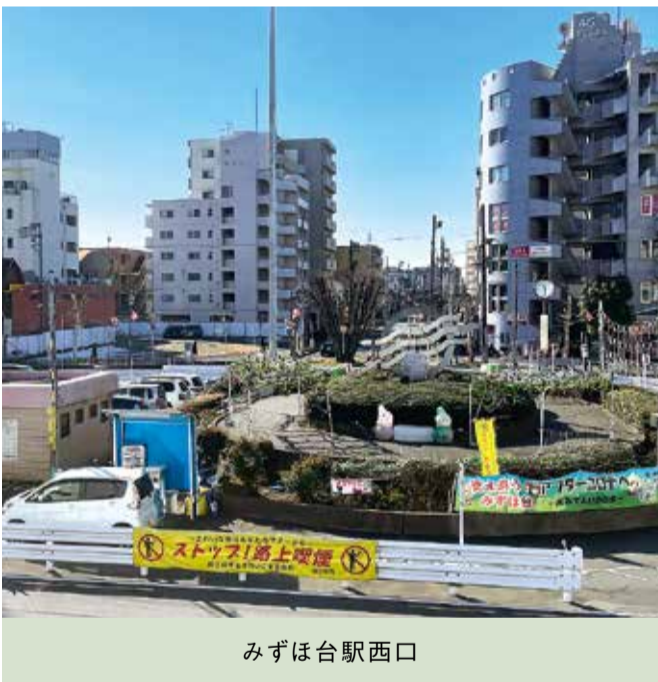
**A** 今後の1号街区公園整備のなかで、公園敷地内において公衆トイレの設置を行う。

**Q** 限川写真館脇の交差点に横断歩道の設置を。

**A** 駅前広場や周辺道路の整備状況により警察と協議する。

**Q** 集会場について。

**A** 今後の課題として鶴瀬駅周辺整備事務所跡地を検討。



みずほ台駅西口



**① 産前産後支援の更なる充実について**

**Q** 流産や死産を経験した方へのグリーフケアの支援を。

**A** 情報収集や研修等を通してのスキル向上に努めたい。

**② 障がいをもつ若者世代へのサポート体制について**

**Q** 働くことのできる場所の推進を。

**A** 受け入れ可能な企業等の情報をいただきながら、職場開拓や企業への就職準備支援を継続していく。現在、市内3か所で農業を実践している就労継続支援事業は、農業の担い手不足解消にもなる良い事例と考える。

**③ 市役所の窓口について**

**Q** プライバシーに配慮した窓口環境の整備を。

**A** 現時点ではご提案の周囲に聞こえなくするパネル等を設置する考えはないが、費用対効果などについて他自治体の導入事例を研究していく。



**① 再び、情報の発信について**

**Q** 公園を活用してイベント・行事を開催する際の手続をわかりやすくまとめて、ホームページに掲載を。

**A** 公園の利用案内を作成しており、今年度内には掲載する予定。

**Q** 理念や目標値を市民と共有するため、市の各種計画の



わかりやすい一覧の公開を。

**A** 準備を進めており、令和4年1月中旬に公開する予定。

**② 排水機場について**

**Q** 現在、排水機場で、停電用の非常用電源設備があるのはどこか。

**A** 市内39か所中、別所雨水ポンプ場のみになる。

**Q** 水害に備え、産業団地のエリアを担う尺地排水機場に非常用電源を設置しては。

**A** 設置できるスペースはある。ポンプ2台が更新の時期を迎えており、そのタイミングに合わせて検討する。

**① 投票率向上に向けて**

**Q** 高齢化の進展等もあり、投票に行きやすい環境づくりが必要。移動投票所の検討を。

**A** 設置には課題も多く、他市の例も含めて研究したい。

**Q** 主権者教育の充実に向けて市を挙げて取り組む体制づくりが必要と考える。そのためにも市としての基本方針、計



画の策定が必要ではないか。

**A** 他市の例も参考として、能動的に取り組んでいきたい。

**② 健康づくりの推進に向けて**

**Q** パワーアップ体操クラブの状況の把握ときめ細かな支援が求められているのでは。

**A** 活動状況、要望等を踏まえ支援を強化していく。

**③ 地域公共交通の充実を**

**Q** 高齢化による免許返納等により、増える交通弱者への支援策が求められる。デマンドタクシーの拡充等の検討を。

**A** これまでのデータ等を検証し、方策も含め議論する。

**① 正副町会長や民生委員・児童委員に向けた更なる支援について**

**Q** 正副町会長について、先進他市のタブレットやアプリの導入経緯と活用状況は。

**A** 石川県野々市市連合町内会では導入したアプリの利用を促進するため、全町会にタブレットを配付しオンライン



会議や町内会の情報発信に活用している。町内会運営全般の効率化や、事務負担の縮減のため導入したと伺っている。

**Q** 民生委員・児童委員について、先進他市のタブレットやアプリの導入経緯と活用状況は。

**A** 野々市市では、成り手が不足している中で仕事を続けながら活動し易くするため導入された。リモート会議や研修会、資料配付等に活用し、民生委員同士の連携強化と郵送代の軽減やペーパーレス化の効果があったと伺っている。

**① 子育て施策の充実を**

**Q** 来年度の保育施設入所申込の状況は。

**A** 12月1日現在605人の申請をいただいている。

**Q** 来年度新しく定員を増やす施設はあるのか。

**A** 計画はない。

**Q** 申請者の内訳は0歳児149人と1歳児269人が大半を占め

ている。待機児童が出てしまっているのではないかと。しっかりと取り組んでいく。

**② 米価暴落対策を**

**Q** 米価暴落対策として加須市や春日部市のように米農家に対し次期作に対する支援を。

**A** 加須市や春日部市は、次期作支援として10アール当たり3500円の種苗費相当額を交付している。本市は個々の農家の水田面積が小規模なため、同様に実施した場合最大で約8万円、大多数は3万円以下。畑作農家等との均衡を踏まえ現時点では実施しない。

木村 邦憲（日本共産党）



①地域公共交通について

Q 市は循環バスの運行時間路線を縮小する計画を進めているが、縮小ではなく拡充を。
A 財政的に難しい。
Q 国からの特別交付税を活用して人員、台数、運行本数の増や、東武東上線西側地域へのバス路線の延伸をすべき。
A 持続可能な公共交通とする

るため拡充は難しい。

②西出張所、サンライトホールの代替施設の設置を

Q 「本庁へ行かないと納税することができない」、「高齢者が身近な窓口で相談できず困っている」など市民生活が広範囲に立ち行かなくなっている状況をどう考えるか。
A マイナンバーカードの普及や電話相談など、代替手段の検討を進めていく。
Q 鶴瀬駅周辺に代替施設を設置しない理由は何か。
A 設置費用が多額となる。現施設の耐震工事を進める。



試験的に導入されている収集ネット

勝山 祥（草の根）



①共生社会実現に向けて

Q 特別支援コーディネーターの配置状況は。
A 各学校に一人である。
Q みずほ学園の理学療法士による機能訓練を週2日から週5日に戻しては。
A 業務内容や量を考える。
②自然災害への備えを
Q 富士山噴火による本市の

降灰量予測は10センチメートルだが、対策は。
A 防護服、ゴーグルを備蓄。
Q 灰は水をかけると固まることや、健康被害が懸念されることを周知してはどうか。
A ホームページで周知する。

③持続可能な社会に向けて

Q 所沢市ではプラスチックごみ削減のため、水道直結ウォーターサーバーを公共施設に設置している。当市でも導入してはどうか。
A 有効な手段だが、設置費用もあり、すぐに設置は考えていない。

小川 匠（日本共産党）



①新型コロナウイルス感染症対策について

Q PCR検査の拡充を。
A 「ワクチン・検査パッケージ」の検査を行う場合や感染拡大傾向にある場合に、無症状者に無料で検査を行うことができるようになる。県と協議しながら周知を進める。
②本市の中学校における校則

の現状について

Q 中学生から、ツーブロックなどの髪型を禁止することや、服装などの規定が細かく定められた校則について「納得いかない」、「もっと自主性を尊重してほしい」という声を伺った。いわゆるブラック校則なども話題となり全国的にも校則の見直しが進んでいる。教育委員会としても、生徒の意見を踏まえて校則を積極的に見直すべきではないか。
A これまでも必要に応じて議論してきたが、今後も積極的な議論を行っていく。

小泉 陽（21・未来クラブ）



①地域経済活性化について

Q 小規模企業者支援状況は。
A 2億2000万円を予算計上した小規模企業者支援給付金支給事業により、企業者の事業継続が図られると考えている。
Q 商業活性化ビジョンの達成に向けた進捗状況は。
A 平成27年策定の第2次計画の達成率は80%である。今

年度開始の第3次計画は着実に実施しており、今後も市内商業の活性化と発展を図る。

②税の申告納税について

Q 市・県民税、保険税の納付状況は。
A 新型コロナウイルスに係る影響はおおむね及んでいない。
③新型コロナウイルス感染症拡大による市内医療体制について
Q 市内医療体制について、市の見解は。
A 医療に関しては県が主管しており、市が行えることはワクチン接種と自宅療養者支援のみと限定的になっている。

熊谷 麗（草の根）



①道路環境の整備について

Q 建築行為に伴って市へ寄附された後退用地は何箇所あるか。
A 38か所ある。
Q その箇所については、市が責任を持って道路整備を行うという認識で良いか。
A 責任を持って行う。
Q カープミラー設置の際の

調査における留意点は。
A 運転手や歩行者など、様々な利用者の立場に立つて調査を行っている。

②ごみの収集方法について

Q 高齢化や社会状況の変化に応じた収集容器的な変化。
A 将来的には全ての収集容器を軽量なものにしていきたいが、予算もかかるので計画的に進めていきたい。
③里親制度について
Q 里親委託推進に向けた取り組み。
A 市のホームページに、ページを常設して周知する。

川畑 勝弘（日本共産党）



①学校給食センターの調理業務の民間委託について

Q 学校給食の目的及び目標を掲げる学校給食法では、学校給食は教育の一環として位置づけられている。「退職で人がいなくなり安全な給食を作る」ことが出来なくなるため「民間委託する」との説明では理由にならない。学校給食法

の観点から市の見解を伺う。

給食調理員の正規職員の退職者補充を行わないことから民間委託を検討する。

Q 学校給食は栄養士と調理員の協力・連携が不可欠で、栄養士の指示内容は、単なる献立の作成にとどまらない。調理業務を献立作成業務と切り離して民間業者に委ねることは問題。法の趣旨を曲げてまで民間委託にするのか。
A 他自治体の民間委託の事例を見ると、栄養士と調理員との連携はスムーズに行っている」と認識している。

田中 栄志（21・未来クラブ）



①スマート自治体への転換について

Q 新技術（RPA・AIなど）活用の現状と課題は。
A 昨年度から3課3業務にRPAを導入し、新型コロナウイルスワクチン接種予約システムにAIチャットボットを提供している。課題は、財務会計処理をRPA化した全庁的な

普及には至っていないこと。DX推進計画にも明記し、業務効率化を推進する。

自動運転バスの実証実験を積極的に検討しては。

Q すぐ導入とはいかないが、研究を重ねていきたい。
②学びをばぐむ環境整備について
Q 水谷地域の児童増加に対応する放課後児童クラブの整備に関して、市長の見解は。
A 水谷小の教室も含め一連のプロジェクトとして早い対応ができないか協議検討しており、しつかり前に進める。

加賀 奈々恵（草の根）



①パートナーシップ制度について

Q 来年4月施行予定のパートナーシップ制度に合わせて、他自治体を例に同性カップルも公営住宅に入居申込できるようにするべき。
A 今後、パブリックコメントで現在公営住宅に入居している方々の意見等も聞いた上

で議論する。

②学校に行けない、行かない子どもへの支援充実を

Q 適応指導教室が遠く通えない方もいる。別の場所への増室を検討してはどうか。
A 施設の課題があることから出張教育相談でカバーするようにしている。
Q 現在行われている出張教育相談を充実させるべき。
A 前向きに取り組んでいく。
③HPVワクチンの周知を
Q 接種率向上のためホームページの表記変更を。
A 検討する。

■次回定例会のお知らせ■

- 2月15日(火) 開会・議案内容説明
2月18日(金) 議案総括質疑
2月22日(火)
2月25日(金) 総務常任委員会
2月28日(月)
3月1日(火) 文教福祉常任委員会
3月2日(水)
3月3日(木) 建設環境常任委員会
3月4日(金)
3月7日(月) 市政一般質問
3月11日(金)
3月14日(月) 予算決算常任委員会
3月17日(木) 委員長報告・採決・閉会

※日程は変更になる場合もあります。

令和4年の定例会の開会日及び 請願・陳情締切日のお知らせ

Table with 4 columns: 3月定例会, 6月定例会, 9月定例会, 12月定例会. Rows: 開会日, 請願・陳情の締切日.

※定例会の開会時間は、午前9時30分からです。
※請願・陳情の締切時間は、締切日の正午までです。
※日程は予定ですの変更になる場合もあります。
事前に議会事務局にお問い合わせください。

議員顔写真下のQRコードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、それぞれの議員の市政一般質問一覧や、議場で質問したときの録画映像にアクセスできます。
なお、最新映像の公開には時間がかかる場合もございますので、ご了承ください。

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送
録画映像 本会議終了後1週間程度で配信

または
[QRコード] 富士見市議会 中継 [検索]

# 令和3年第4回(12月)定例会 審議結果

全会一致可決の議案等

議案等番号	議案等の名称	議案等番号	議案等の名称
76	富士見市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	90	富士見市道路線の認定について
78	市長及び副市長の給与等に関する条例及び富士見市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	91	富士見市道路線の廃止について
80	富士見市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	92	富士見市道路線の変更について
81	富士見市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	93	令和3年度富士見市一般会計補正予算(第8号)
83	令和3年度富士見市一般会計補正予算(第9号)	報告12	専決処分の報告について
84	令和3年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)	報告13	専決処分の報告について
85	令和3年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	諮問3	人権擁護委員の推薦について
87	令和3年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	議28	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める意見書の提出について
89	令和3年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)		

\*「報告」については採決の対象ではありません

○賛成 ×反対

賛否の分かれた議案等

議案等番号	議案等の名称	審議結果	21・未来クラブ										草の根			公明党			日本共産党		立	維		
			小泉	田中	佐野	尾崎	斉藤	関野	村元	加賀	熊谷	勝山	今成	篠田	篠原	山下	深瀬	木村	寺田	小川			川畑	根岸
77	富士見市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	富士見市一般職の職員の給与に関する条例及び富士見市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	令和3年度富士見市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	令和3年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	令和3年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情26	加齢性難聴者のための補聴器購入助成制度の創設を求める陳情(陳情者 全日本年金者組合埼玉県本部富士見支部 支部長 小倉洋一)	採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議23	石炭火力発電所の廃止を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議24	教員免許更新制の即時廃止と速やかな施行を求める意見書の提出について	原案可決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議25	消費税インボイス制度の実施の延期・中止を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議26	政党助成金制度の廃止を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議27	名古屋入国管理局の死亡事案の再発防止のため情報公開等を求める意見書の提出について	原案可決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※表中、会派の「立」は立憲、「維」は日本維新の会を省略表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。 ※議長は議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。

## 議案審議報告

### 議案第76号

富士見市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致可決)  
 富士見市特別職報酬等審議会の意見を踏まえ、期末手当の支給月数(割合)を0.15月分引き下げるものです。  
 なお、令和3年度6月期の期末手当は支給済みのため、12月期より適用されます。

及び富士見市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致可決)  
 富士見市特別職報酬等審議会の意見を踏まえ、期末手当の支給月数(割合)を0.15月分引き下げるものです。  
 なお、令和3年度6月期の期末手当は支給済みのため、12月期より適用されます。

### 議案第77号

富士見市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (賛成多数可決)  
 会計年度任用職員の期末手当は、一般職の常勤職員の例により支給することとされていますが、期末手当の支給割合(月数)について、基準日の属する年度の4月1日時点の一般職の常勤職員の期末手当の支給割合(月数)により算出することとする特例を定めるため、富士見市会計年度任用職員の報酬等に関する条例(令和元年条例第10号)の一部を改正するものです。  
 [令和3年12月1日施行]

### 議案第79号

富士見市一般職の職員の給与に関する条例及び富士見市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (賛成多数可決)  
 令和3年人事院勧告等に伴い、期末手当の支給月数(割合)を0.15月分引き下げるものです。なお、再任用職員等及び特定任期付職員は0.1月分引下げとなります。  
 令和3年度6月期の期末手当は支給済みのため、12月期より適用されます。

### 議案第78号

市長及び副市長の給与等に関する条例

### 議案第82号

令和3年度富士見市一般会計補正予算(第7号) (賛成多数可決)  
 既定の予算から8億7,899万3,000円を増額し、予算の総額を374億2,608万9,000円とするものです。

### 《主な内容と金額》

- 新型コロナウイルス感染症の長期化の影響を受けている子育て世帯に対し、子育て世帯臨時特別給付金を給付するための補正 [8億806万円]
- 新型コロナウイルス感染症ワクチンの追加接種(3回目接種)に伴い、ワクチン接種委託料及び事務費を増額するための補正 [1億590万1,000円]

### 《主な内容と金額》

- 子育て世帯への臨時特別給付金の給付について、令和3年11月30日に提案し議決を経た一般会計補正予算(第7号)の子育て世帯への臨時特別給付金等を増額し、子ども一人当たり10万円を一括給付するための補正 [7億9,770万6,000円]

### 議案第83号

令和3年度富士見市一般会計補正予算(第9号) (全会一致可決)  
 既定の予算から5億2,314万7,000円を減額し、予算の総額を377億64万8,000円とするものです。  
 《主な内容と金額》  
 ・びん沼自然公園の整備について、事業期間の延長に伴い、工事費を減額するための補正 [△5億7,000万円]

### 諮問第3号

人権擁護委員の推薦について (全会一致同意)  
 令和4年3月31日で任期満了となる高橋千代子氏を、再び推薦することに同意したものです。

### 議案第93号

令和3年度富士見市一般会計補正予算(第8号) (全会一致可決)  
 既定の予算に7億9,770万6,000円を追加し、予算の総額を382億2,379万5,000円とするものです。

